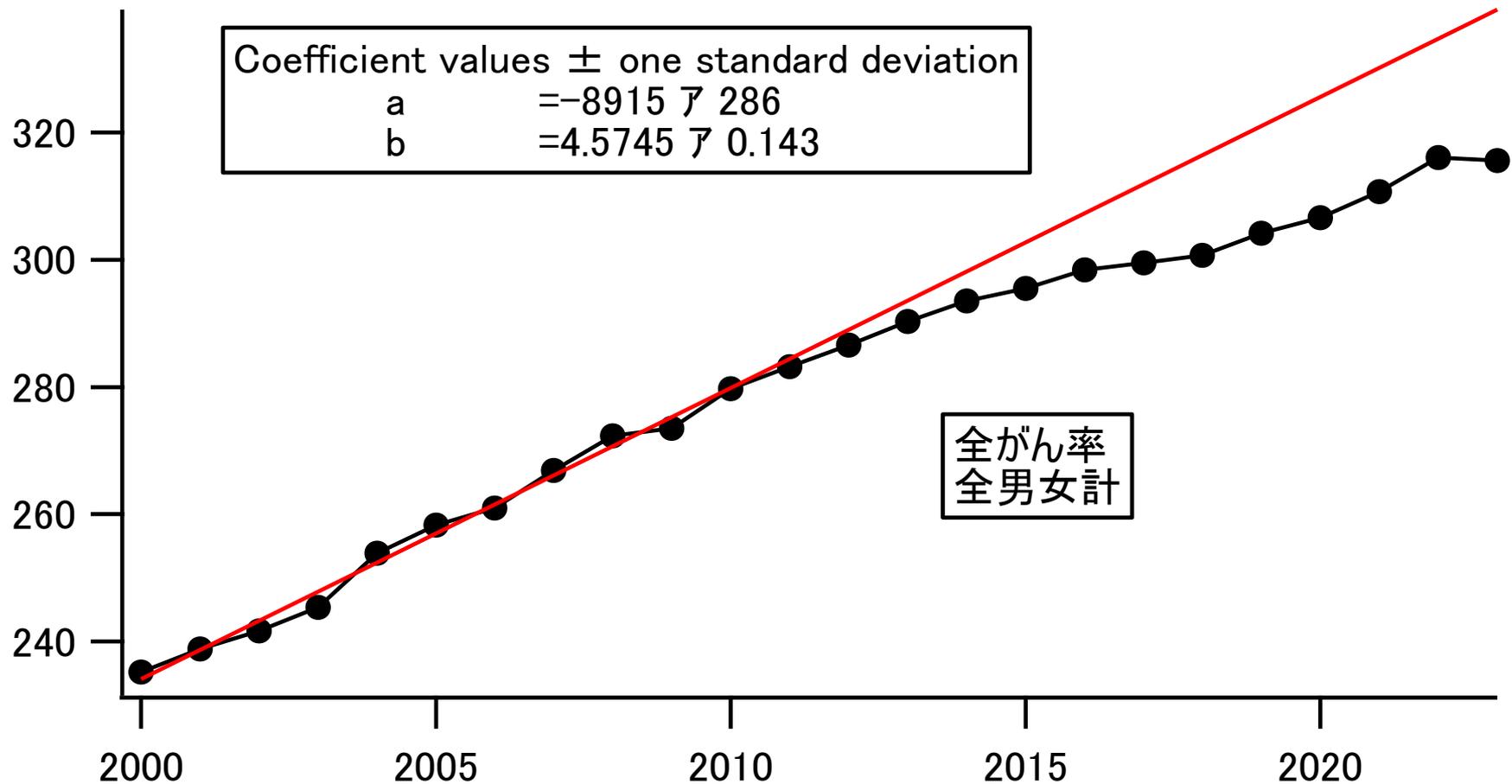


全がん死亡率の 年齢別年次依存

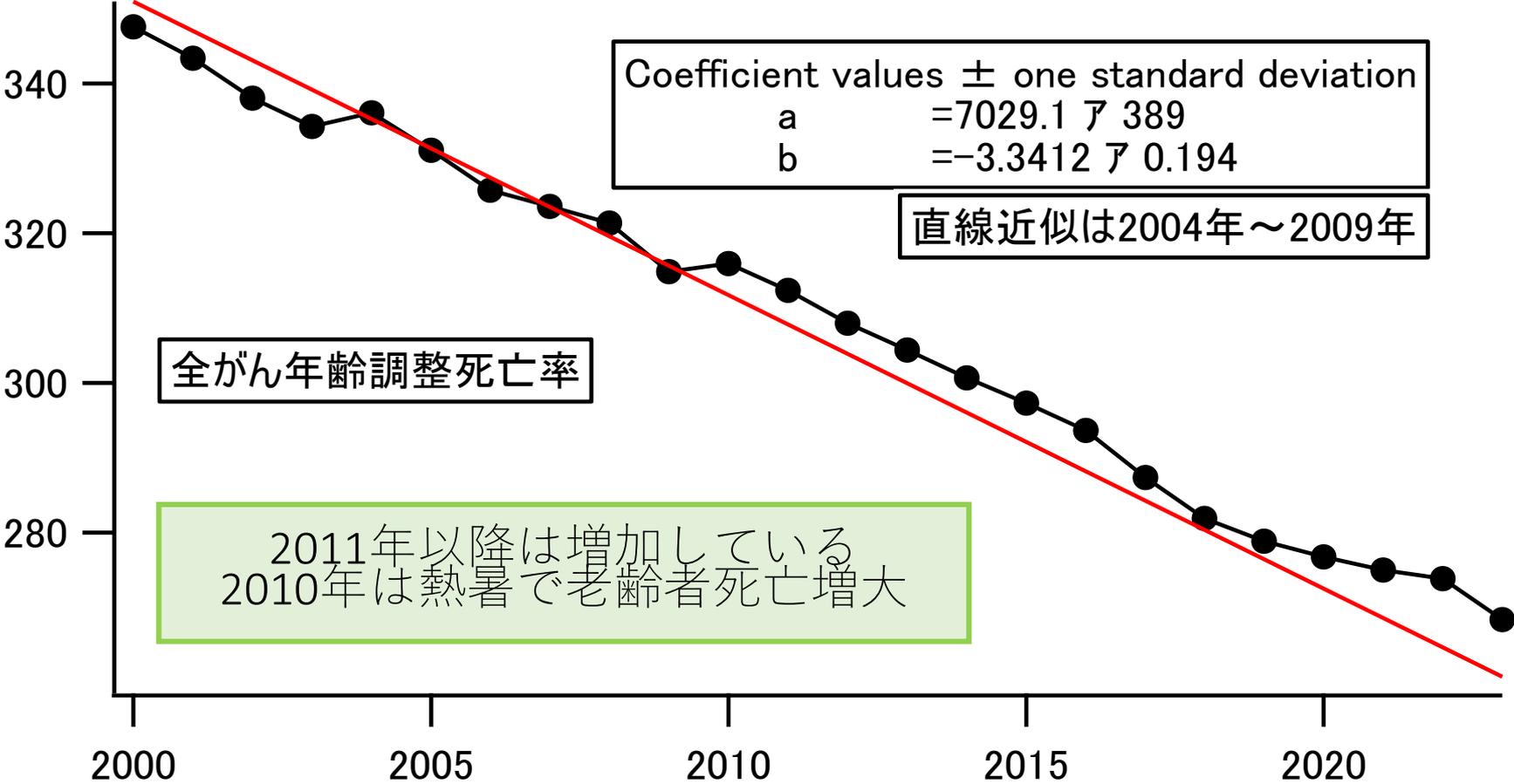
2011年以降を2010年以前と比較する

矢ヶ崎克馬

全年齡・全がん粗死亡率
 2011年以降は減少している
 10才～70才では増加しているは
 赤線は2000年～2010年の近似直線



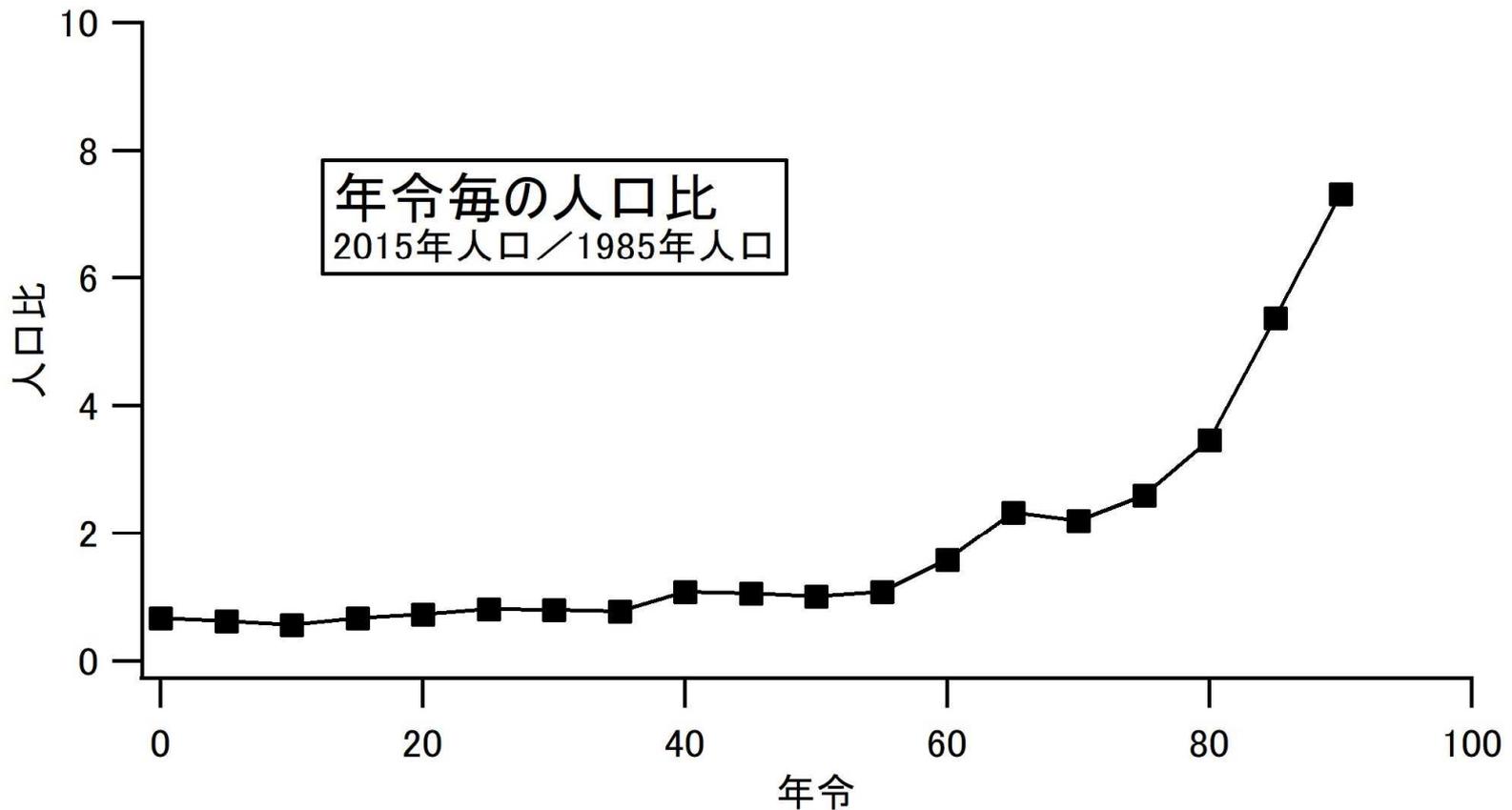
全がん全年齡年令調整死亡率



2015年と1985年の年齢毎人口比

60才以上で急増（59才以下はあまり問題なし）

⇒ お年寄りの死亡が多い疾病は
過小評価となる

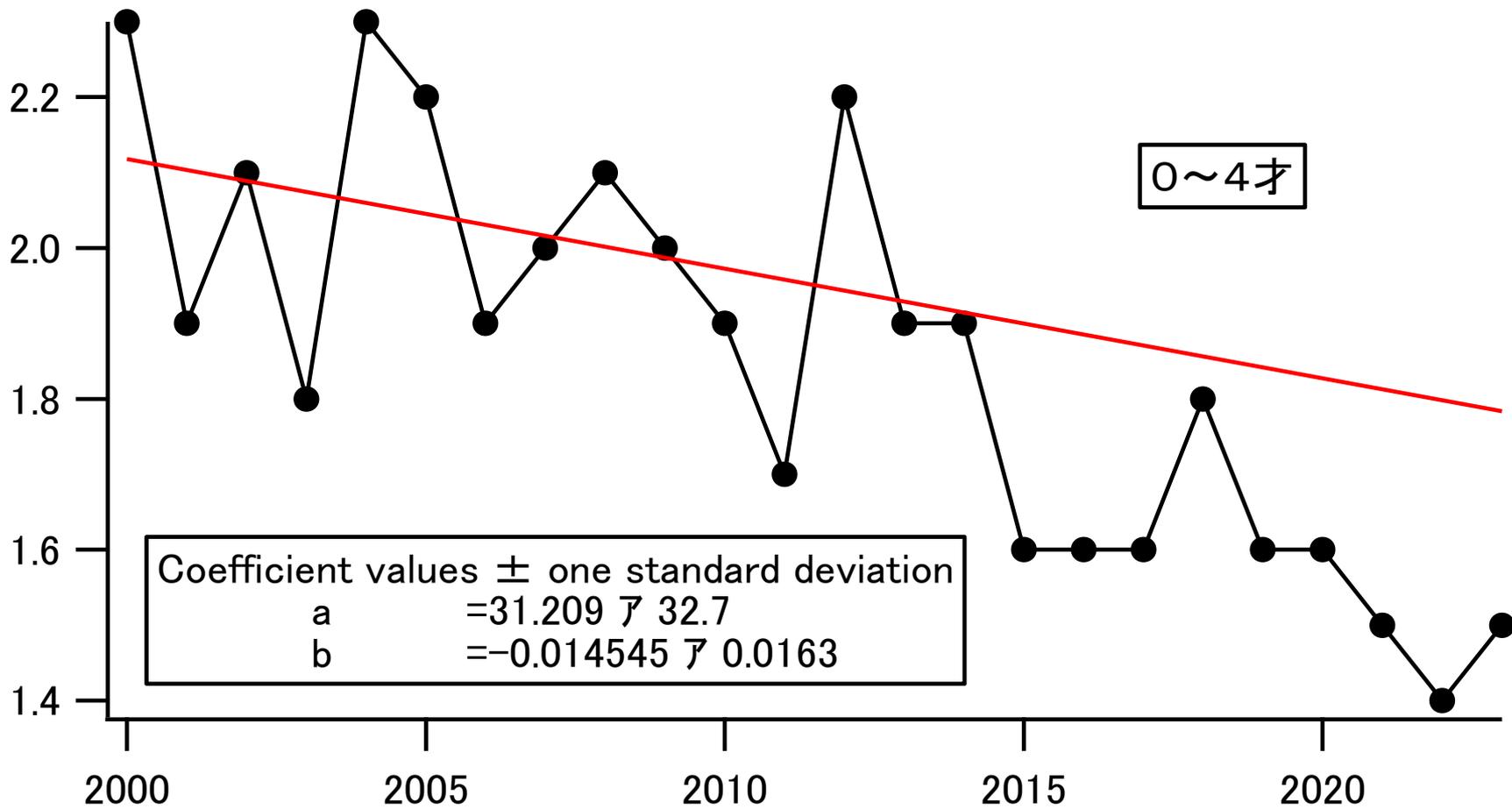


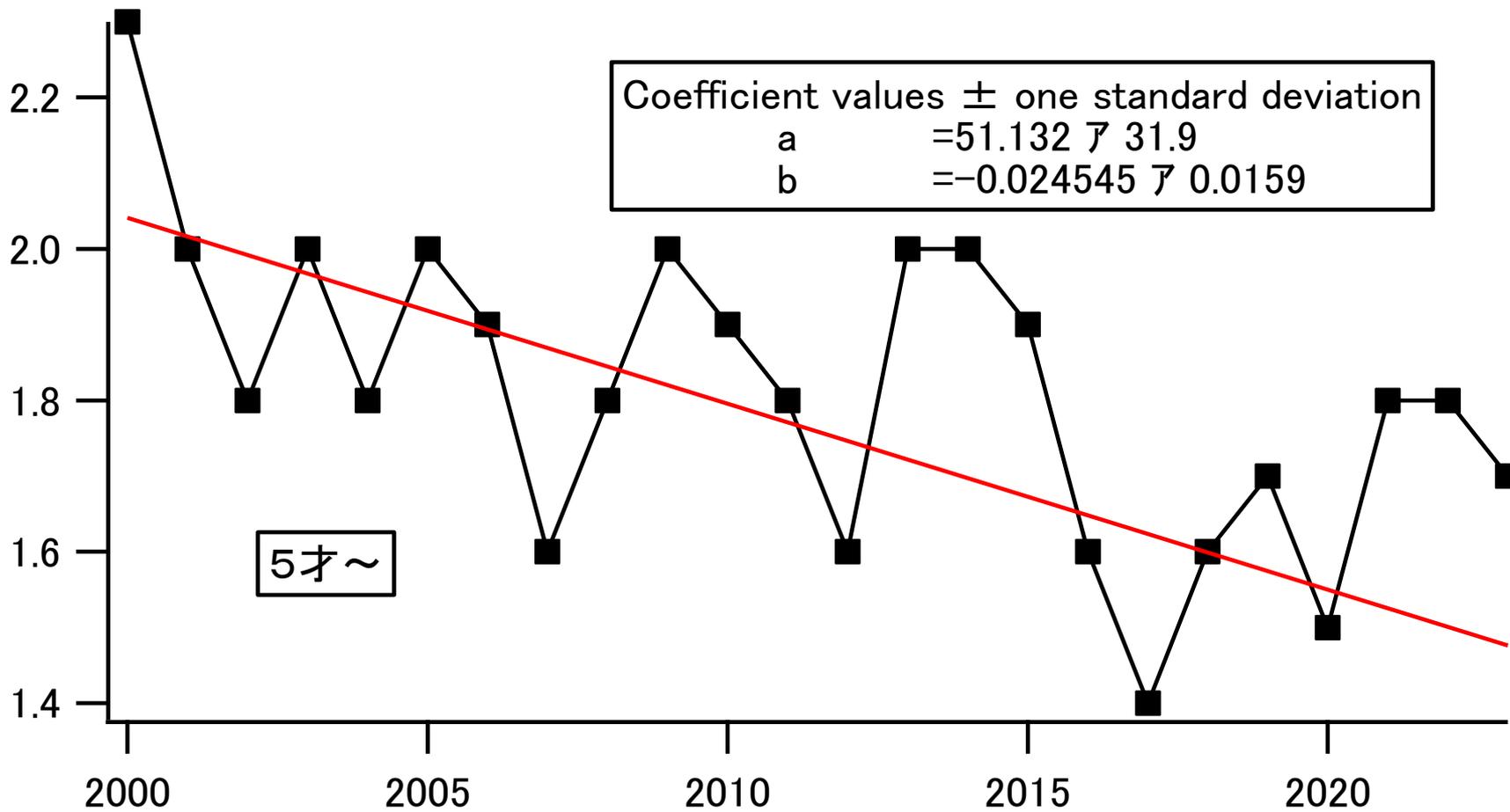
年齢別増減

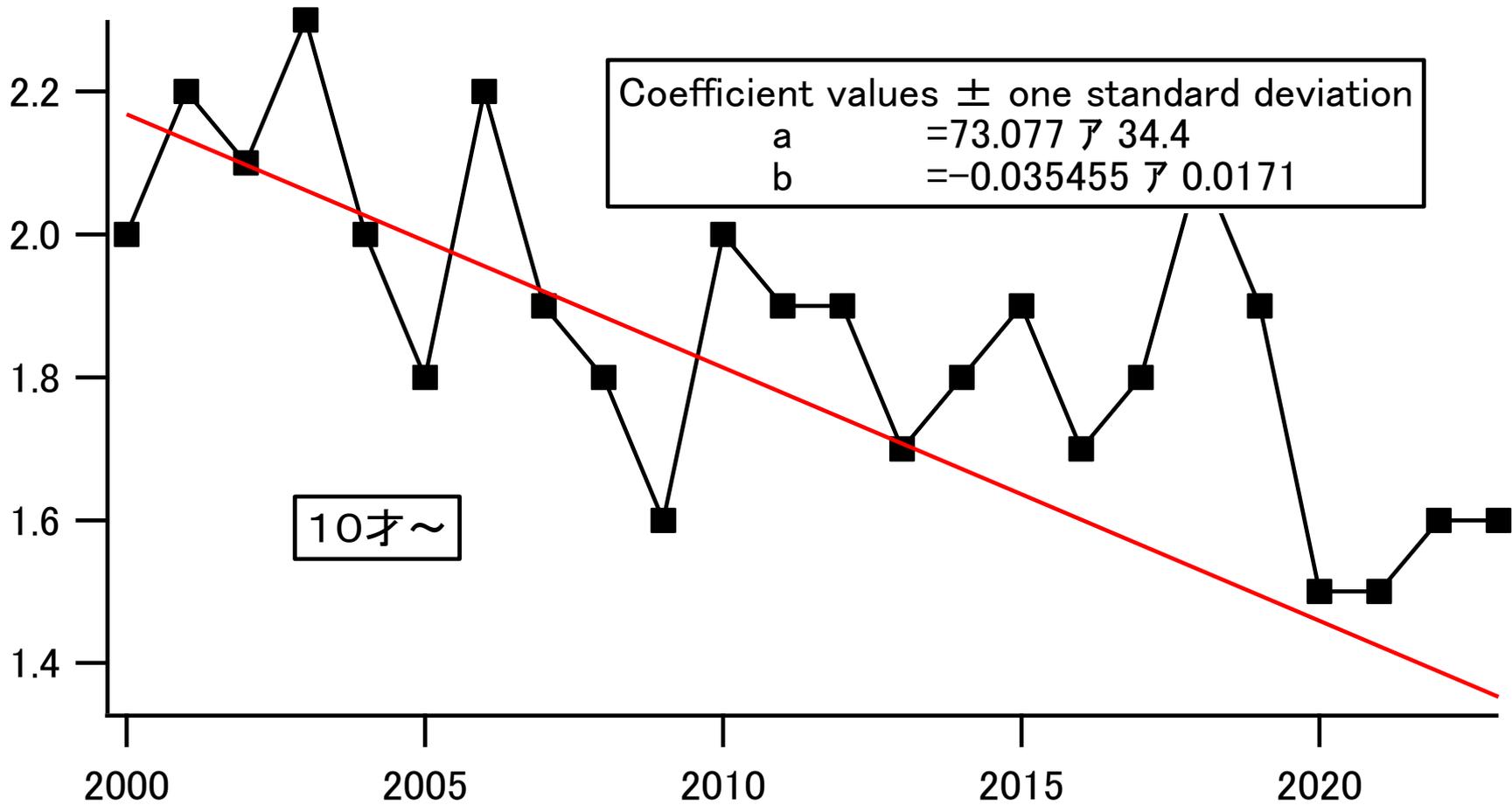
2011年以降を2010
年以前と比較する
粗死亡率は減少
年令調整死亡率は
増加

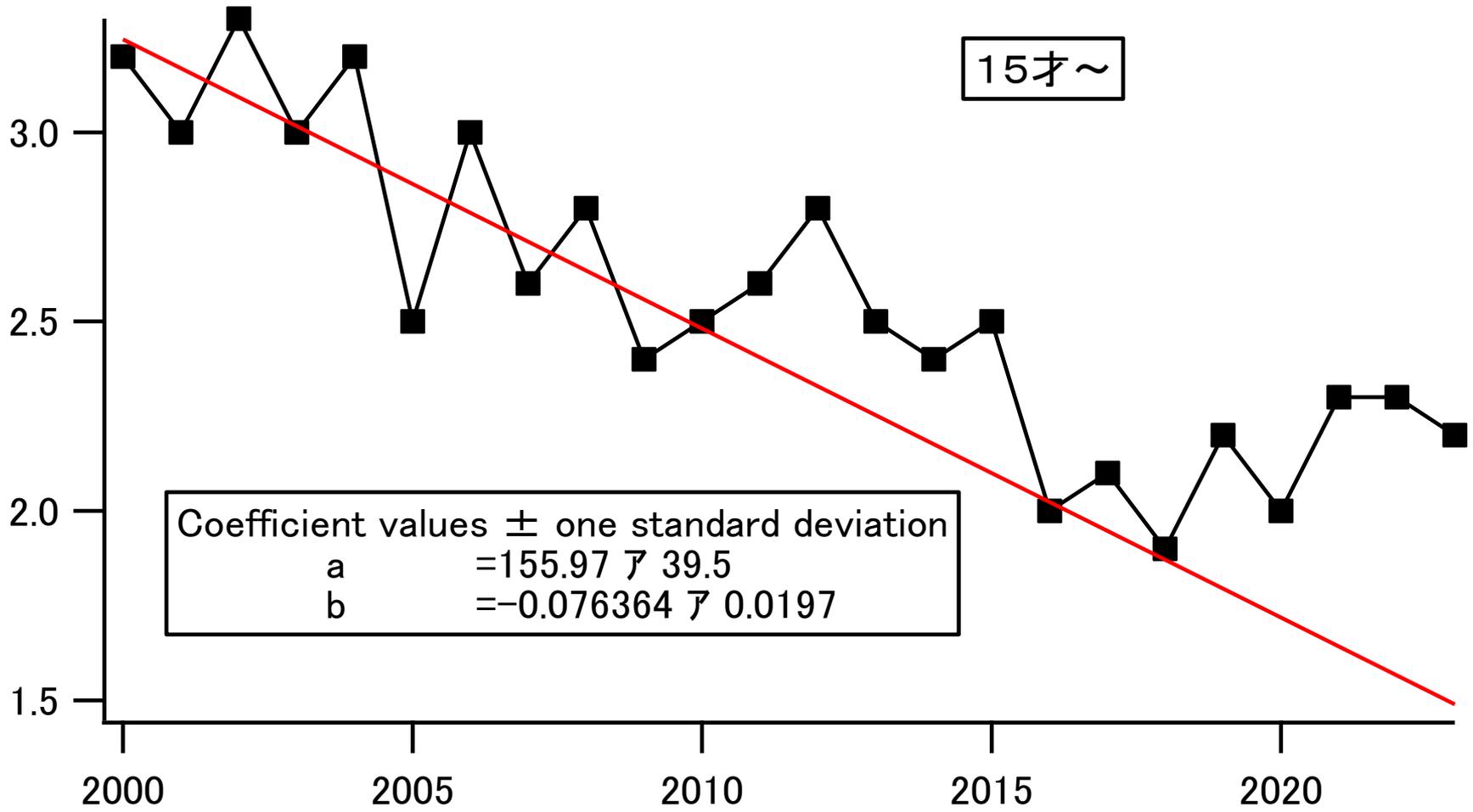
全がん死亡率の
増減は
全死亡率変化と
逆傾向！

全	→	減←
0~	→	若干減←
5~	→	ほぼ増減無し←
10~	→	増加←
15~	→	若干増加←
20~	→	増減無し←
25	→	若干増加←
30	→	増加←
35	→	増加←
40	→	増加←
45	→	増加←
50	→	2020年から増加←
55	→	減少←
60~	→	2015年から減少←
65~	→	はっきり増加←
70~	→	2014年から増加←
75~	→	減少←
80~	→	減少←
85~	→	2018年まで増加←
90~	→	減少←
95~	→	増減無し←







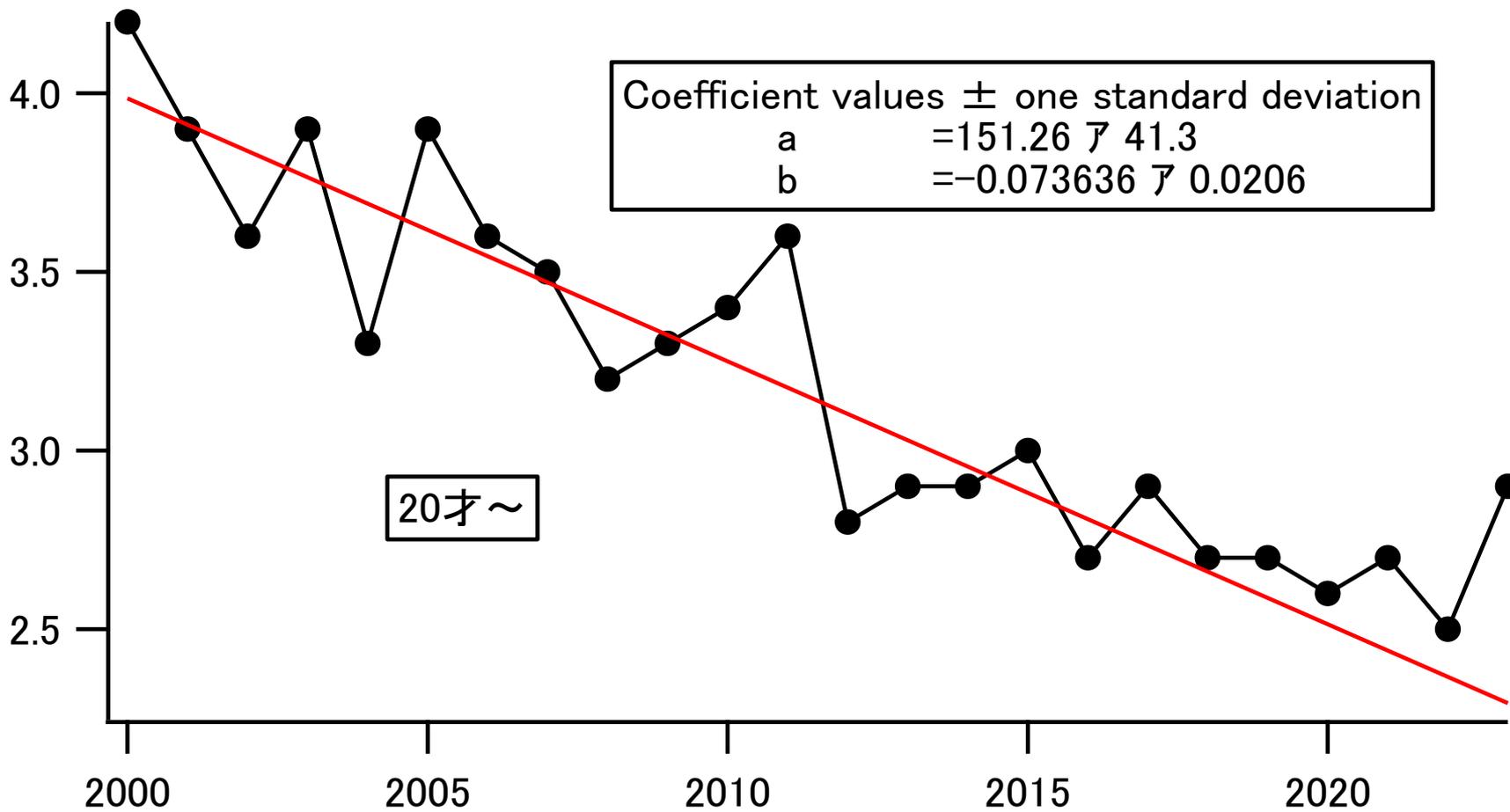


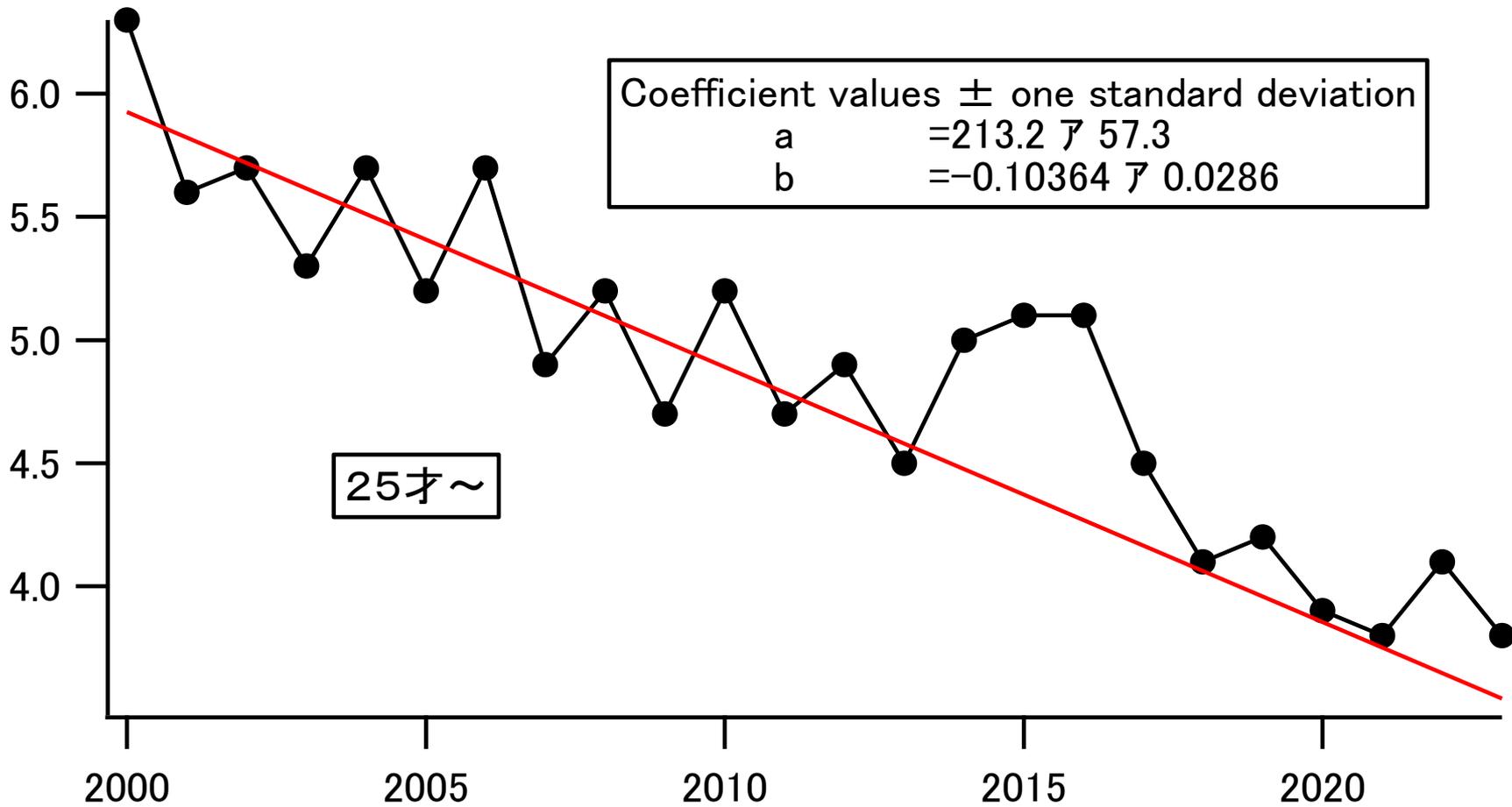
Coefficient values \pm one standard deviation

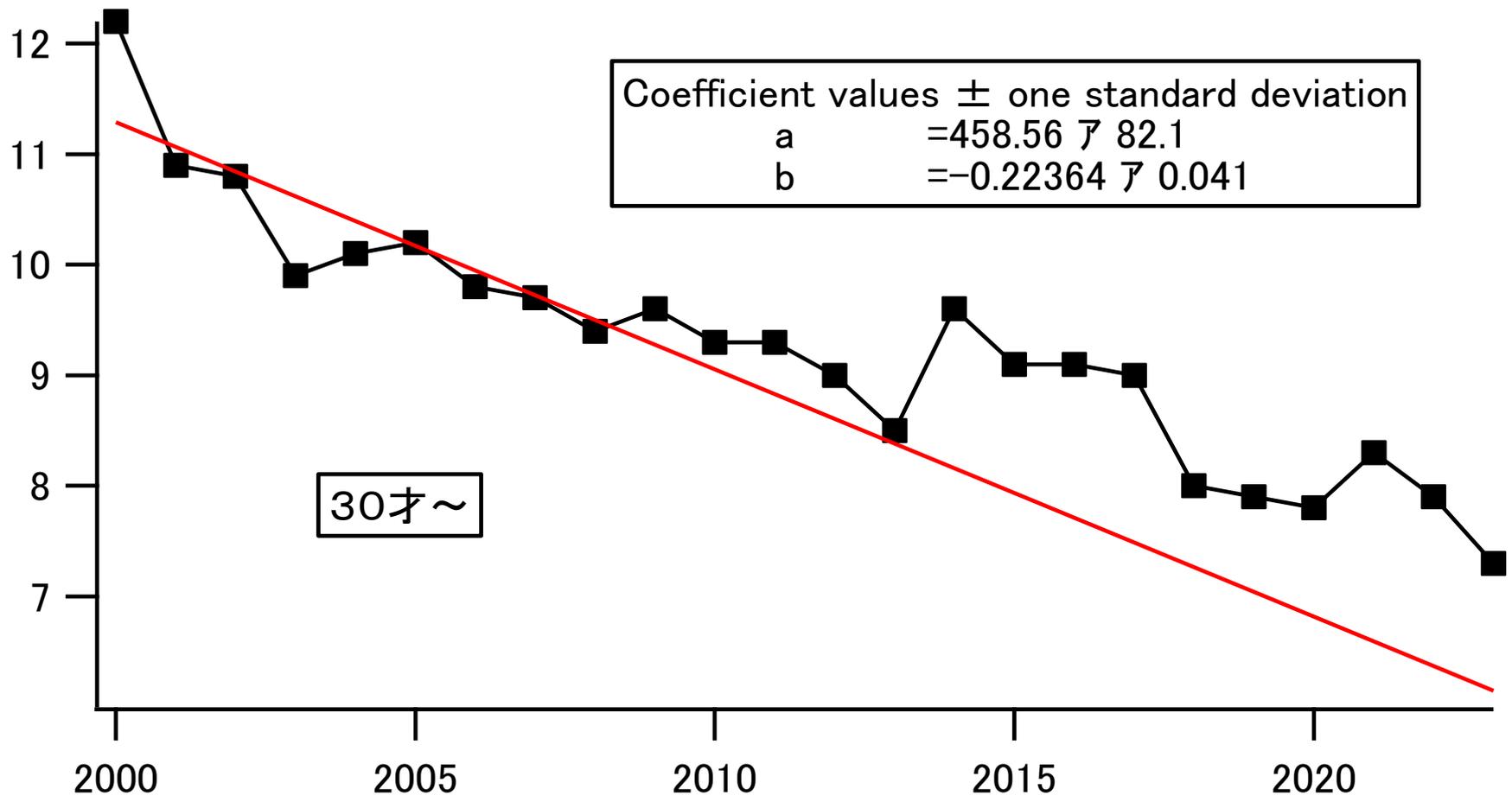
a =155.97 \pm 39.5

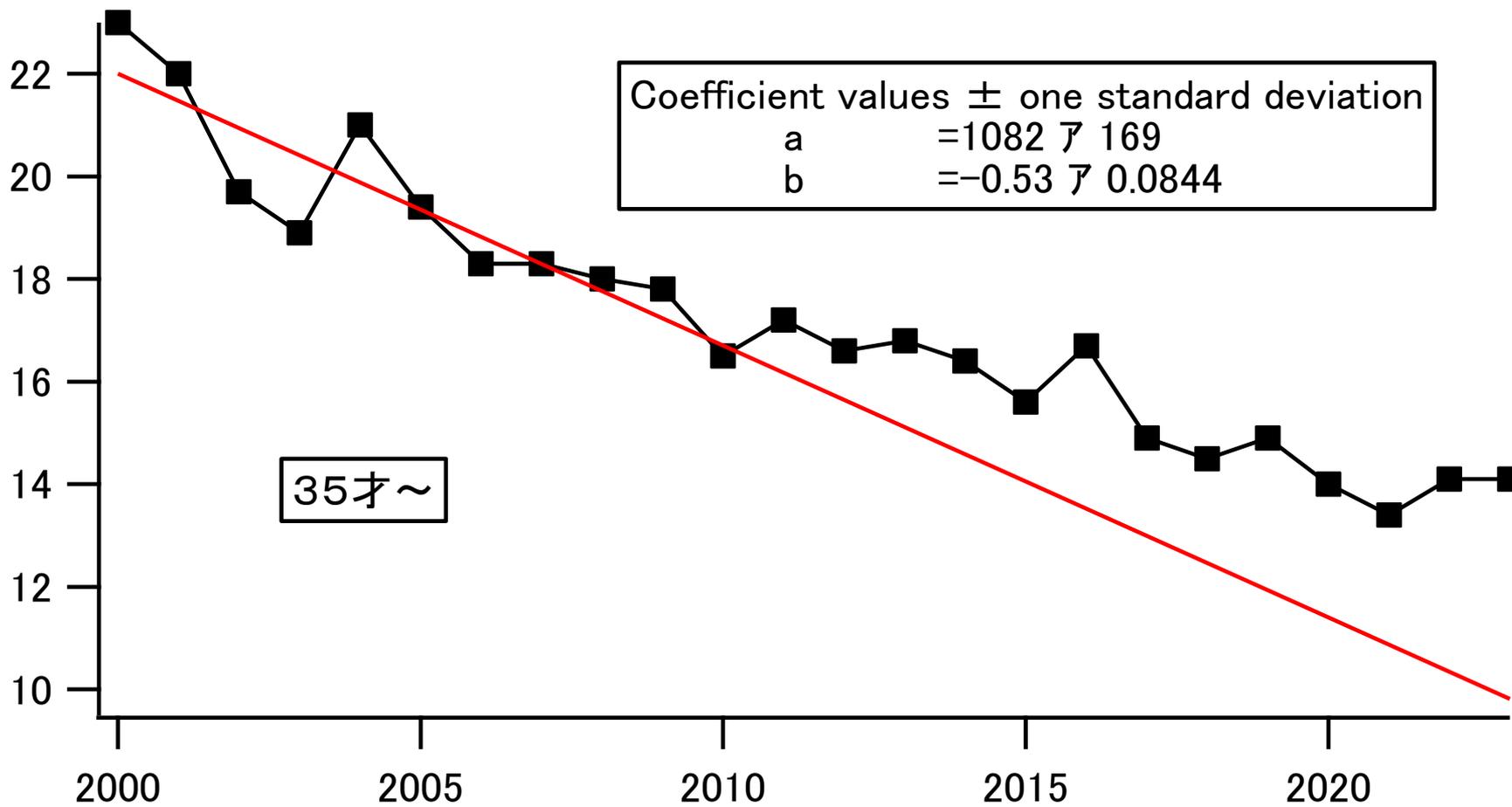
b =-0.076364 \pm 0.0197

15才～









Coefficient values \pm one standard deviation
a = 2309.7 \mp 219
b = -1.1336 \mp 0.109

40才~

